



9月1日～15日の活動報告

●北陸国際投資交流促進会議 「北陸域外での進出企業に学ぶ企業誘致勉強会」

日時：9月2日(金) 10:30-11:30
形式：オンライン開催
参加者：44名

昨年度の勉強会は北陸に進出した企業にご講演いただいたが、今年度は北陸以外の地域に進出した企業に、進出の経緯等ご講演いただくこととなった。今回は、北海道千歳市に進出された(株)FJコンポジット代表取締役の津島栄樹氏より「地方のアドバンテージと世界進出」と題して、ご講演いただいた。

FJコンポジットは、現在第3工場を設立し、生産規模を順調に拡大させている。しかし、ここまでは、2002年に当時静岡にあった自宅から始まり、そして静岡県インキュベーターセンターで事業を開始するも、リーマンショックの影響により、やむを得ずスタッフを解雇せざるを得なかったことなど、今まで大変な苦労をされてきたことについて説明があった。



同社の販売割合は海外がほとんどであるが、千歳空港を中心にヒト・モノ(製品)の移動ができる。また、寒冷な気候が快適な作業環境を作っていること、安価で広い土地、住環境の良さについても言及があった。一方で地方進出の問題点として、①家族の引越、②引越費用、③今までの取引銀行との関係などが挙げられた。

最後に、北海道進出の際の最大のアドバンテージは人材の「開拓者精神の継承」(大自然に培われた心豊かに、助け合い協力する精神)と力説された。

ご講演や、その後の質疑応答内容等を踏まえ、今後の北投促の活動に取り組んでいくこととなった。

(担当：岩田)

●人財活躍推進セミナー 「10年後の労働市場の状況と今から始めるべき企業の対応策」

日時：9月12日(月) 14:00-16:40
場所：金沢ニューグランドホテル(オンライン併催)
参加者：59名(会場11名、オンライン48名)

第1部では「労働市場の未来推計2030から見えた課

題と対策」と題し、中央大学経済学部の阿部正浩教授に講演いただいた。阿部教授は2030年に644万人の人手不足と推計。多様な働き方の実現やリカレント教育等による女性と高齢者の活躍や外国人労働者の活用、さらには資本投入の増加、イノベーションの促進等による生産性の向上に今から取り組むべきと指摘した。

第2部では北陸域外からの兼業・副業受入れに関して、まず(株)日本政策投資銀行北陸支店の宮原史英子副調査役が「北陸地域における『新しい人材シェア』のあり方」と題して講演。北陸域外からの移動を前提としない人材活用によって、地域の成長につながると指摘し、具体的な企業の取り組み事例を紹介した。

次に金沢大学融合学域の佐無田光教授からは、「地域労働市場の将来像と企業の対応策～共創型企业・人材展開プログラムからの教訓」の演題で、地域労働市場の現状と課題、それへの対応として首都圏等の中核人材を石川県内の企業とマッチングし定着を図る取組である「共創型企业・人材展開プログラム」について説明があった。

参加者からは、重要なテーマであり、具体的な企業事例等が分かりやすく大変参考になった等のご意見があった。



(担当：落合)

●三経連経済懇談会

日時：9月13日(火)～14日(水)

場所：仙台市 ホテル佐勘

参加者：39名(うち北経連からは事務局含め7名)

北陸・東北・北海道の3経済連合会による第25回三経連経済懇談会が、13日に仙台市で「ウィズコロナ時代における新しい流れを捉えて～三地域の持続的な発展・連携深化に向けて～」をテーマとして開催された。

懇談会に先立って、東北大学青葉山新キャンパス内

で整備を進めている次世代放射光施設「ナノテラス」を視察した。この施設は、放射光(X線)を発生させ、これを利用して物質を分子レベルで観察する、いわば「ナノを見る巨大な顕微鏡」である。企業においても研究開発現場で活用が期待されており、2024年度に運用開始予定。



懇談会では、最初に各経連会長が挨拶に立ち、金井会長は、まず、当会今年度の政府要望の重点事項2点としてエネルギーの安定的な確保、価格高騰対策として原子力発電の積極的な利用と北陸新幹線の早期全線開業を要望したことを紹介した上で、三経連が連携・協力して取り組むべき課題について活発な意見交換が行われることを期待すると述べた。



意見交換では次の3つの個別テーマを設定して各経連の取り組みなどが発表された。

- ・ロシアによるウクライナ侵略や急激な円安、新型コロナウイルスの感染拡大などによる地域企業への影響の実態とそれに対する取り組み
ニューハウス工業(株)代表取締役社長・当会理事の村上哲也様が意見発表
- ・多様な働き方と人材活躍へ向けた取り組み
小田常任理事の代理としてご参加いただいた(株)加賀屋 中女将の長谷川明子様が意見発表
- ・地域産業の更なる成長へ向けた取り組み
立山科学(株)代表取締役社長・当会常任理事の水口勝史様が意見発表

意見交換を踏まえ、決議を採択した。この決議を以て来月、三経連共同で政府要望を実施する。

14日は、「福島イノベーション・コースト構想」に基づき整備された「福島ロボットテストフィールド」と「東日本大震災・原子力災害伝承館」の両施設を視察。この視察には懇談会の参加者に加え、杉野常任理事の代理として、(株)スギノマシンPE事業部部長の犬島旭様が参加された。(担当:小山)

●北陸産学技術交流会(見学会)

2022年度テーマ①「研究設備の外部利用と利用支援サービス」(主査:金沢大学)

主査:金沢大学 先端科学・社会共創推進機構

日時:9月15日(木) 14:10-16:00

場所:金沢大学 角間キャンパス

参加者:17名(事務局8名含む)

金沢大学 先端科学・社会共創推進機構との共催で、上記テーマの技術交流会を見学会形式で対面開催し、会員企業の実務者および大学研究者が参加した。



理事(研究・社会共創・大学院支援担当)中村慎一副学長の開会挨拶後、共同研究・学術コンサルティング事業および金沢大学の研究設備利用について紹介があった。その後、外部利用可能な化学分析装置、電子顕微鏡、研究設備の遠隔操作等を見学し、名刺交換・情報交換を行った。

(担当:坂井)

今後の行事予定

◆西日本経済協議会総会

日時:10月17日(月)13:30-18:10

場所:ホテル一畑(島根県松江市)

北陸、中部、関西、四国、九州、中国の6つの経済連合会で構成する西日本経済協議会の総会を開催します。

◆北陸国際投資交流促進会議「北陸進出企業に学ぶ企業誘致勉強会」

日時:10月19日(水) 10:30-12:00

形式:オンライン開催(Teams)

内容:

・講演「テクノロジー×クリエイティブで、楽しい明日を、今日つくる!~人生100年時代における、働き方を探して~」

(株)バクターデザイン 代表取締役社長 梅澤 幻 氏
取締役 藤崎 麻衣 氏
取締役 松原 孝 氏

・自治体(富山県)より誘致にあたっての支援・サ

ポータル活動など説明

申込：10月13日(木)までに下のURLから申込

<https://forms.office.com/r/STtAALTNFT>

(担当：岩田・森岡)

◆2022年度 第二回 海外現地情勢報告セミナー ～ベトナム・タイ・シンガポール～

ウィズ・アフターコロナを見据え、海外市場開拓の候補先として注目度が高いベトナムとタイから現地進出企業の動向や抱える課題に関して、また、長期にわたり高い経済成長率を実現しているシンガポールから生産性向上に関する一次情報を地銀の海外拠点から発信します。

日時：10月25日(火) 13:00-15:00(日本時間)

形式：オンライン(Microsoft Teams)

内容：

「ベトナムに対する期待と現状認識とのギャップについて」

(株)北陸銀行 ホーチミン駐在員事務所

所長 山田 太一 氏

「進出企業の最新動向と抱える課題」

(株)福井銀行 バンコク駐在員事務所

所長 木田 浩久 氏

「シンガポールに学ぶリスキリングによる生産性向上策」

CC INNOVATION SINGAPORE PTE. LTD.

Managing Director 中村 彰秀 氏

対象：全会員

申込：10月18日(火)までに下記URLからお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/mF6ts8eyRe>

※複数名の参加可能です。参加者毎に申込みください。

詳細：

<https://www.hokkeiren.gr.jp/news/data/2ae2e749bfd5807f34c201b3ee373fe9.pdf>

問合せ：北陸A J E C 小島・高道

TEL:076-231-5525 メール：ajec@hokkeiren.gr.jp

(担当：小島・高道)

お知らせ

■中小企業庁からのお知らせ

「パートナーシップ構築宣言」の公表

「パートナーシップ構築宣言」とは、サプライチェーンの取引先や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築することを、「発注者」側の立場から企業の代表者の名前で宣言するものです。

「パートナーシップ構築宣言」では、

・サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を

越えた新たな連携

・親事業者と下請事業者との望ましい取引慣行(下請中小企業振興法に基づく「振興基準」)の遵守を宣言し、「パートナーシップ構築宣言」ポータルサイトに掲載することにより、各企業の取り組みの「見える化」を行います。

「パートナーシップ構築宣言」を公表した企業は、指定のロゴマークを広報等に使用することができます。また、一部の補助金について、加点措置が講じられます。

なお、2022年度より、資本金10億円以上かつ従業員数1,000人以上の企業が、「賃上げ促進税制」の適用を受ける場合には、「パートナーシップ構築宣言」の公表が義務化されています。(大企業向け「賃上げ促進税制」御利用ガイドブックの2ページ、4ページ、9ページ参照)

https://www.meti.go.jp/policy/economy/jinzai/syotokukakudaisokushin/pdf/chinagesokushinzeisei_gb_20220706.pdf

「パートナーシップ構築宣言」の概要、ポータルサイトへの登録方法等は、下の「パートナーシップ構築宣言」ポータルサイトをご覧ください。

<https://www.biz-partnership.jp/>



(担当：小林)

■北陸未来共創フォーラムからのお願い

「インターンシップの実施動向」のアンケート調査のご協力

北陸地区4国立大学と北経連で立ち上げた北陸未来共創フォーラムの地元人材育成分科会から、標記アンケート調査の協力をお願いします。9月6日に会員企業の窓口の方へメールにてご依頼しました。

北陸地域における産学連携した人材育成および域内就業促進に向け、本調査にご協力のほどよろしくお願い致します。

【回答方法】下のURLから入力をお願いします。

<https://ws.formzu.net/dist/S43873924/>

【回答期限】9月22日(木)

【問合せ】金沢大学 研究・社会共創推進部地域共創推進課 三島 TEL:076-264-5289

chiiki@adm.kanazawa-u.ac.jp

(担当：坂井)

■石川県からのお知らせ

輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会地域シンポジウム



【日時】10月18日(火) 15:30-17:00

【場所】石川県立音楽堂(オンライン併催)

【内容】

開会挨拶

小倉 将信 女性活躍担当大臣/内閣府特命担当大臣
(男女共同参画)

馳 浩 石川県知事

基調講演「男性リーダーによる女性活躍推進への想いと取組」

アサヒグループホールディングス(株)

代表取締役社長兼CEO 勝木 敦志氏

パネルディスカッション「女性活躍推進における組織トップの役割」

(株)北國フィナンシャルホールディングス

代表取締役社長 杖村 修司氏

コマニー(株)

代表取締役社長執行役員 塚本 健太氏

(株)小林製作所

業務改革最高責任者 黒川 正枝氏

ファシリテーター 西垣 淳子 副知事

【主催】内閣府(共催:石川県)

【申込】10月4日(火)までに申込み

【詳細】

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/danjo/dannseiri-da/simpojiumu.html>

【問合せ】石川県県民文化スポーツ部男女共同参画課

TEL:076-225-1374

(担当:日野)

■(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構石川支部からのお知らせ

高齢者雇用推進セミナー2022「高齢者を活かす雇用・働き方を考える」

【日時】10月28日(金) 13:00-16:00

【会場】石川県地場産業振興センター本館第1研修室

【定員】50名(先着順)

【内容】

基調講演「高齢者が70歳まで働くための制度づくり」

金沢学院大学経済学部教授 奥井 めぐみ氏

事例発表・パネルディスカッション

・コマニー(株)

・第一電気工業(株)

【詳細】

<https://www.hokkeiren.gr.jp/news/data/65ac6f4000c4ac61cc5d15d200754f27.pdf>

【申込】10月21日(金)までにメールまたはFAX

【問合せ】(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構石川支部

高齢・障害者業務課 TEL:076-267-6001

(担当:落合)

■(一財)中部生産性本部からのお知らせ

2022年度 人と企業の活力化フォーラム

「海図なき時代に新たな未来を描く」～DXやGXなどの山積する課題を解決するなかで～

【URL】

<https://www.cpc.or.jp/cpc/publics/index/189/>

【形式】オンライン開催(Zoom)

【日時・内容】全10回

第1回 10月11日(火)14:00~16:00

「公益資本主義による“令和の所得倍増実現”」

アライアンス・フォーラム財団会長 原 丈人氏

第2回 10月20日(木)14:00~15:45

「中堅中小企業におけるDXの効果的な進め方」

アステリア(株)CXO(最高変革責任者)ノード 変革推進室室長 中山 五輪男氏

第3回 10月28日(金)14:00~15:45

「脱炭素社会と企業戦略」

京都大学 大学院経済学研究科教授 諸富 徹氏

第4回 11月2日(水)14:00~15:45

「脱炭素の救世主!水素が拓く未来」

国立研究開発法人産業技術総合研究所 ゼロエミッション

国際共同研究センター水素製造・貯蔵基盤研究チーム

研究チーム長 高木 英行氏

第5回 11月7日(月)14:00~15:45

「ウクライナの最新情勢と激変する安全保障環境」

国際政治学者 日本研究者 アンドリー グレンコ氏

(第6回~第10回は上記URLをご参照ください)

【申込】上記URLから申込

【主催】(一財)中部生産性本部(北経連他 後援)

【問合せ】(一財)中部生産性本部 担当:大澤・堤・

中川 TEL:052-221-1261 FAX:052-221-1265

<https://www.cpc.or.jp/cpc/>

(担当:坂井)

■ジェトロからのお知らせ

【現地発ウェビナー】ウィズコロナ下で高成長を続けるインドの今 一現地事務所長、進出日系企業が語る!—

ウィズコロナのもとで活動規制の緩和などにより、高成長が続く中、インドはインフレや金融引き締めにより減速しつつも、2022年のGDP成長率は主要国の中で最も高い7.4%と予測されています(IMF、22年7月)。さらに、国連の最新予測によると、インドの人口は来年中国を抜いて世界一となる見通しで、中長期的にも有望市場です。モディ政権以降、メーク・イン・インド政策等により工業立国への歩みを強めており、その政策動向も注目されます。中国、米国に



次ぐ世界第3位の温室効果ガス排出量を持つインドでは、2070年までのカーボンニュートラルを宣言し、官民からグリーン分野の大型投資計画が発表されるなど、新たなビジネスチャンスも生まれつつあります。

今回、インドの最新現地事情、ビジネス環境の変化などをジェトロ現地事務所長がウェビナーを開催します。また、長年にわたりインド自動車市場でナンバーワンメーカーとしてご活躍されるマルチ・スズキ・インドア様も招聘の上、現地事業展開の状況などが発信されます。

【日時】9月22日(木) 14:00-15:45(日本時間)
オンデマンド配信は、9月29日(木)~11月29日(火) 予定

【形式】オンライン開催

【対象】日本国内の方

【受講料】一般4,000円/ジェトロ・メンバーズ2,000円

【詳細・申込】

https://www.jetro.go.jp/events/ora/27f177f4a222e39.html?utm_source=newsletter&utm_medium=email&utm_campaign=ORA220922

【問合せ】ジェトロ海外調査企画課・セミナー/ウェビナーチーム

メール：oraseminar@jetro.go.jp TEL：03-3582-5189
(担当：小島・高道)

■ジェトロからのお知らせ

アジア技術系スタートアップが競うイノベーション・アワード「AEA2022」

本アワードには、「ヘルスケア」「ワークスタイル&ライフスタイル」「サステイナビリティ」に関連した技術を持つ、アジア各国・地域から選ばれた技術系スタートアップ24社が参加し、ビジネスアイデアの革新性等を競ってグランプリを目指します。

アジアの有望な技術系スタートアップを発見する貴重な機会となります。

皆様のお申し込みを心よりお待ちしております。

【日時】10月26日(水)~27日(木)

【形式】オンライン開催

【主催】アジア・アントレプレナーシップ・アワード運営委員会

【共催】東京大学産学協創推進本部、三井不動産(株)、(一社)TXアントレプレナーパートナーズ(TEP)、日本ベンチャー学会、(独)日本貿易振興機構

【プログラム】

10月26日(水) 13:00-17:00

(参加企業紹介・セミファイナルセッション等)

10月27日(木) 13:00-19:00

(ファイナルセッション・特別講演等)

【言語】英語 ※27日(木)は日本語の同時通訳あり

【詳細】<https://aea.events/j/>

【申込】<https://aea2022online.peatix.com/>

【問合せ】ジェトロ・イノベーション促進課(担当：山崎、佐々木、瀬田) メール：iid@jetro.go.jp
(担当：小島・高道)

■富山県からのお知らせ

「外国人材採用・就職サポート事業」登録企業募集

富山県では、県内の外国人留学生等の外国人材の採用や県内就職を支援するため、外国人材や県内企業に対する採用・就職相談窓口を設置し、外国人材等と県内企業とのマッチングを実施します。

外国人材の活用を検討している、または既に活用しており外国人材を求める県内事業者を募集します。

【詳細】

https://www.pref.toyama.jp/1303/gaikokujinzai/syusyoku_support.html

【問合せ】富山県商工労働部労働政策課雇用推進班
TEL：076-444-8897

(担当：岩田)

以上